



島根県内で見つけた「エシカル」につながる(エシかってる)行動や事柄をFacebookで紹介しています。

端午の節句のお餅といえば「柏餅」だろうか？あるいは「ちまき」？

広く出雲地方のお節句といえば「笹巻き」なのである。旧暦にあわせて忠実に年中行事が進んでいくこの地方では6月がその「笹巻き」の季節。

丸いつるりとしたサルトリイバラの葉で、シンプルにあん入り団子を包む「柏餅」文化圏で育った私は、何枚もの葉を使って包み込む「笹巻き」の念の入った仕業に驚いた。



筆者宅に届いた奥出雲横田地域の「笹巻き」

餅粉で練ったフランクフルト大の団子に笹の軸を刺し、笹の葉を巧みに広げてその団子を包み込む。「いがら」と呼ばれるい草を煮て乾燥させた紙漉りのようなひもで結束する場合もある。地域によって、使う笹の葉の枚数や包み方が僅かに違って、個性となっている。

エシカルライフの第1歩として、必要最低限の簡易包装の選択は当然の心がけ。そんな中、自然由来で爽やかな香りを放つ「笹巻き」は、ecoにあっても極めて贅沢なラッピングだ。



加エグループ「フレッシュファーム神代」(雲南市三刀屋)のふるさと使用の笹巻き作業

また、「笹巻き」は6月の出雲地方の密かな賑わいを生み、商材となる。

街中のスーパーには、家庭で笹巻きが作れるよう、笹の葉といがら(い草)が並んで販売され、山間の小さな地域で、郵便局のふるさと便の笹巻きを器用に包む女性グループが有る。そして、「笹巻き」を体験するワークショップが平地から山間部へ、笹の葉が大きく成長する時期に合わせて週代わりで開催されていくのだ。

自然をもとに、地域にちょっとした活気を起こす「笹巻き」。出雲には、蓋し豊かなエシカル文化があった。

「エシカル消費」の推進 「エシカル (ethical)」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/ethical.html

島根県環境生活部環境生活総務課
消費とくらしの安全室(島根県消費者センター)
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3

島根県消費者センター
Facebookはこちらから→

facebook.com/Shimane.CIC